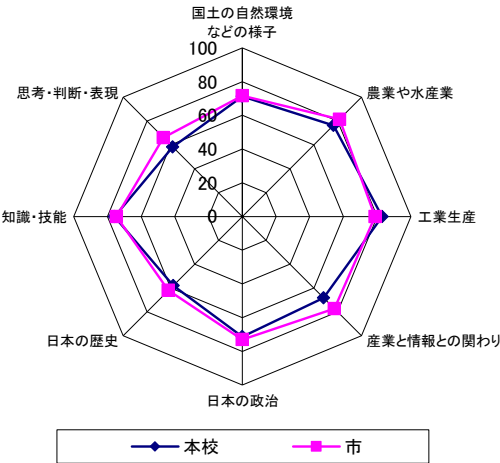


宇都宮市立桜小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の自然環境などの様子	71.2	71.6	67.5
	農業や水産業	76.4	81.5	82.1
	工業生産	82.9	78.7	70.8
	産業と情報との関わり	68.3	77.2	68.2
	日本の政治	71.3	73.1	77.9
	日本の歴史	57.9	62.0	65.8
観点別	知識・技能	75.8	74.6	74.5
	思考・判断・表現	58.3	66.2	65.2

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の自然環境などの様子	○日本周辺の海洋名や他国の位置、地図の読み取りなど、すべての設問において、市の平均と同程度だった。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・引き続き、日本国内や世界の国々の様子について、日々のニュースなどに関連付けながら興味をもたせ、学習に臨むことができるようにする。
農業や水産業	●地産地消の取り組みや、カントリーエレベーターについての問題では、正答率が市の平均よりも4ポイント低い。既習事項の復習が必要である。	・農業や水産業についてのキーワードをしっかりと押さえた上で、授業の中で時事的な話題も取り入れながら、米作りや水産業について、さらに理解を深めていく。
工業生産	○すべての設問において、市の平均正答率より高かった。特に、自動車工場の作業工程についての問題では、正答率が95%を超えるなど、自動車に関する知識の定着が見られた。	・自動車だけではなく、日本の工業生産全体についてさらに理解を深めることができるように、自身の生活と関連付けながら学習していけるようにする。
産業と情報との関わり	●資料に着目して、コンビニエンスストアの発注システムについて捉え、判断する設問では、正答率が約50%と低い。	・自身の生活を振り返らせながら、具体的に日本の情報産業について関心をもって学習できるようにする。他教科とも関連付けながら、知識や理解を高めていく。
日本の政治	○日本国憲法についての設問では、市の平均正答率よりも5ポイント高かった。 ●税金についての設問では、市の平均より7ポイント低かった。資料を活用して答える問題には課題が見られる。	・日本の政治について、時事問題を用いるなどして興味をもたせながら、復習をさせるようにする。また、租税教室などを有効活用しながら、自身の生活に直接的に関係のある税について改めて理解できるようにする。
日本の歴史	○縄文時代から平安時代についての問題では、市の平均と同程度であり、正答率が80%を超える問題もある。 ●安土桃山時代から江戸時代についての問題では、市の平均よりも10ポイントほど低く、再度確認する必要がある。	・正答率の低かった設問について、その時代に関する内容を復習するようにする。人物に焦点を当てて、それぞれの人物がどの時代にどのようなことをしたのか、結び付けることができるように教材を工夫する。